

<b>【技術の名称】</b> ジェミニウイング工法 ー凹型円盤翼を有するコンクリート柱状補強体を用いた地盤補強工法ー	性能証明番号：GBRC 性能証明 第16-29号(更2) 性能証明発効日：2023年1月18日 性能証明の有効期限：2026年1月末日 <b>【取得者】</b> 株式会社シグマベース、有限会社勝実建設、 株式会社アートコーポレーション、 株式会社東亜機械工事、太昭工業株式会社、 有限会社サポートホールド、 株式会社第一工業、美和産業株式会社
--	---

### 【技術の概要】

本技術は、先端翼とケーシング鋼管を脱着可能なジョイントによって接続したものを地盤中に回転貫入させ、ケーシング内にコンクリートを打設後、先端翼を残してケーシングを逆転にて引き上げることにより、地盤中に先端翼を有するコンクリート柱状体を築造し、これを地盤補強体として利用する工法である。先端翼にはハットウイング工法（GBRC 性能証明 第15-17号 改1）の凹型鋼板を使用する。なお、本工法による補強地盤の鉛直支持力は、基礎底面下の地盤の支持力を無視して柱状地盤補強体の支持力のみを考慮することとしている。

### 【更新の内容】

新規：GBRC 性能証明 第16-29号（2017年1月19日）  
更新：GBRC 性能証明 第16-29号（更1）（2020年1月17日）  
GBRC 性能証明 第16-29号（更2）（2023年1月18日）

### 【技術開発の趣旨】

本技術は、騒音振動問題等で採用されることがなくなった打撃工法に用いる既製コンクリート杭の先端沓である凹型鋼板を杭状地盤補強体の先端翼として有効利用する杭状地盤補強工法である。軸部を鋼管としているハットウイング工法は、現場によっては工場からの材料運搬コストが割高になるケースがあり、本技術は、これに対応するために開発された。

### 【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、単杭状の補強体の鉛直支持力のみを対象としており、以下の通りである。申込者が提案する「ジェミニウイング工法 設計・製造・施工基準」に従って施工された補強体の許容支持力を定める際に必要な地盤で決まる極限支持力は、同基準に定めるスクリュウウエイト貫入試験結果に基づく支持力算定式で適切に評価できる。

また、本技術については、規定された施工管理体制が適切に運用され、工法が適正に使用されている。

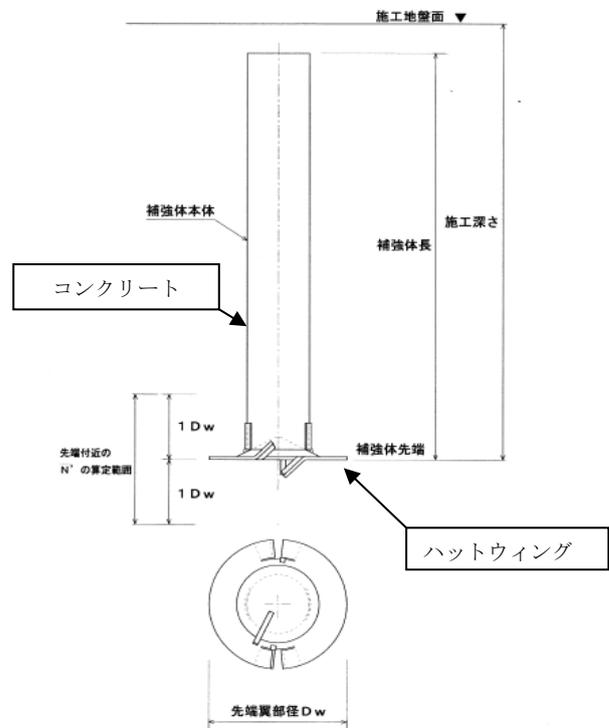


図1 モデル図

### 【本技術の問合せ先】

一般社団法人ジェミニウイング工法協会 担当者：佐藤 美和  
〒130-0025 東京都墨田区千歳一丁目8番17号 ㈱シグマベース内

E-mail：info@sigmab.co.jp  
TEL：03-3846-8294 FAX：03-3846-8296